

**2024年3月期**

# **決算説明資料**

**2024年5月24日**

**株式会社K S K**

# Agenda

## 1 KSKグループ概要

### 2 業績の概要

前期との比較

過去の業績推移 (売上高・営業利益)

営業利益の増減要因

セグメント別業績 (売上高・セグメント利益)

### 3 前中期経営計画「TRUST50」の振り返り

究極の品質、考える現場、プレミアムサービス、成果 (売上高・利益)

### 4 新中期経営計画「Blue Wind Chapter II」の概要

環境認識、基本方針、経営全体フレーム、重点課題、

サステナビリティへの取組、各種KPI

### 5 業績予想

業績目標、配当方針

### 6 Appendix ～ご参考～

1

# K S Kグループ概要

## 株式会社K S K

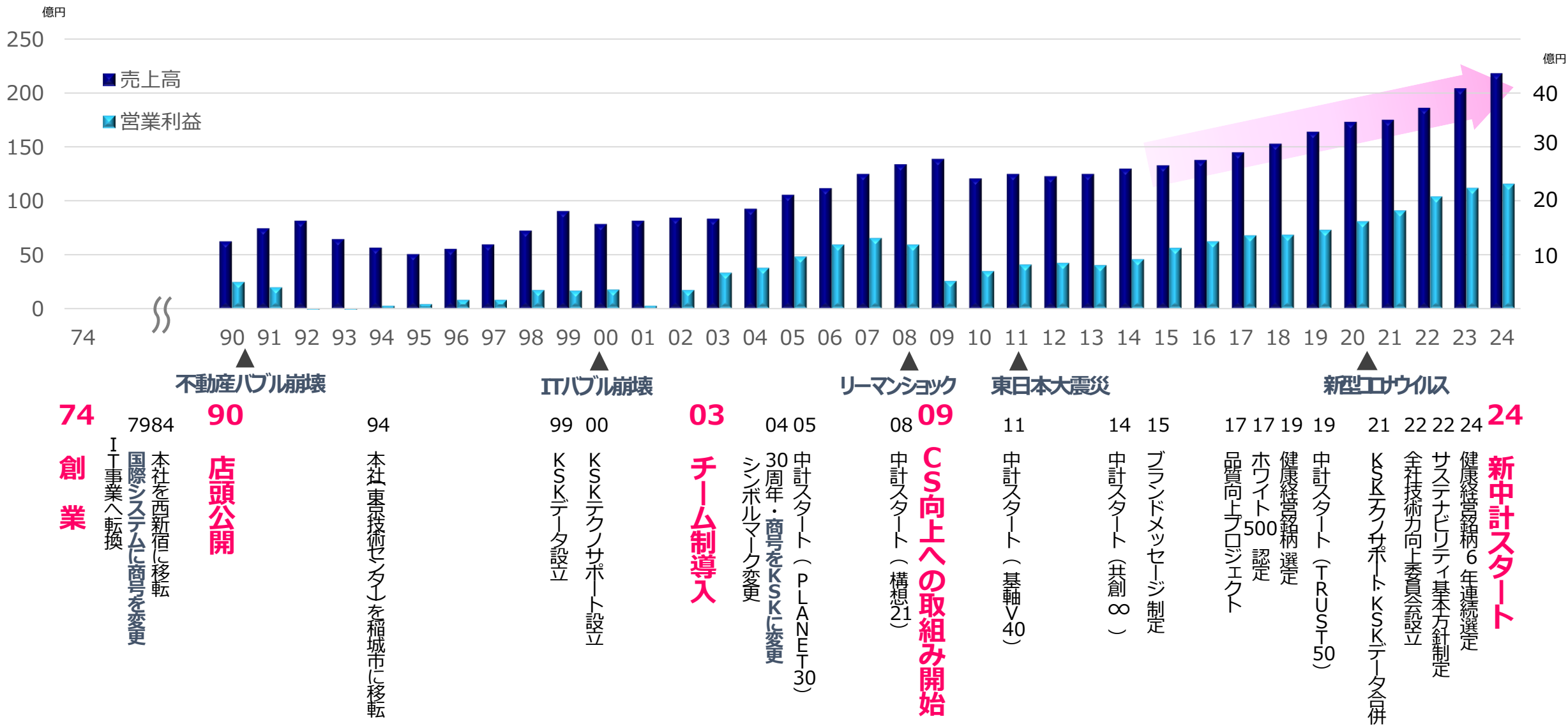
設 立	1974年5月23日（創業50年）
資本金	14億4,846万円
事業内容 (セグメント)	① システムコア事業 ② I Tソリューション事業 ③ ネットワークサービス事業
従業員数	2,461名（連結、2024年3月末現在）
本 社	東京都稲城市百村1625-2
事業所	東京本社, 日本橋, 新宿, 川崎, 川崎中央, さいたま, 浜松, 厚木, 刈谷, 関西



## K S Kグループ会社

株式会社K S Kテクノサポート 資本金 5,000万円 東京都稲城市 ネットワークサービス事業/ I Tソリューション事業

※ 株式会社K S K九州（現.株式会社NEXUS）は2024年3月に当社保有の全株式を譲渡したため子会社から除外いたしました。



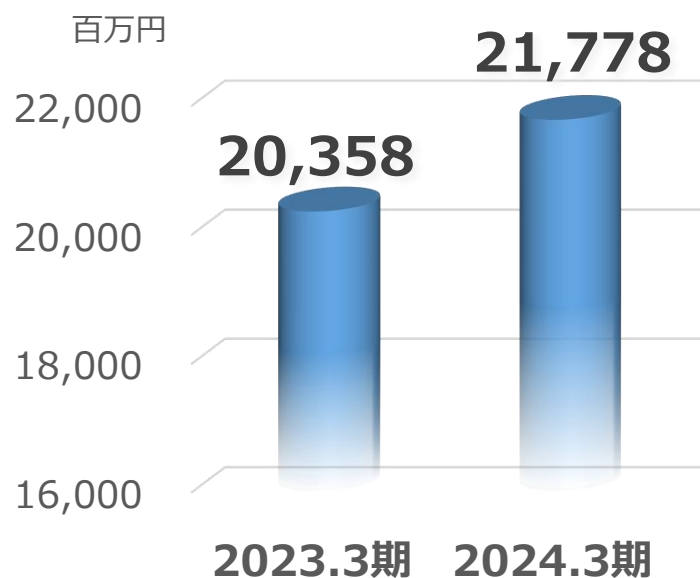
2

## 業績の概要（2024年3月期）

2024年3月期の連結業績は、売上高が**12期連続増収**となり、営業利益も**10期連続増益**となりました。その結果、**売上高・営業利益・当期純利益**のいずれも**過去最高値を更新**しました。

## 売上高

7.0%増



## 営業利益

3.6%増

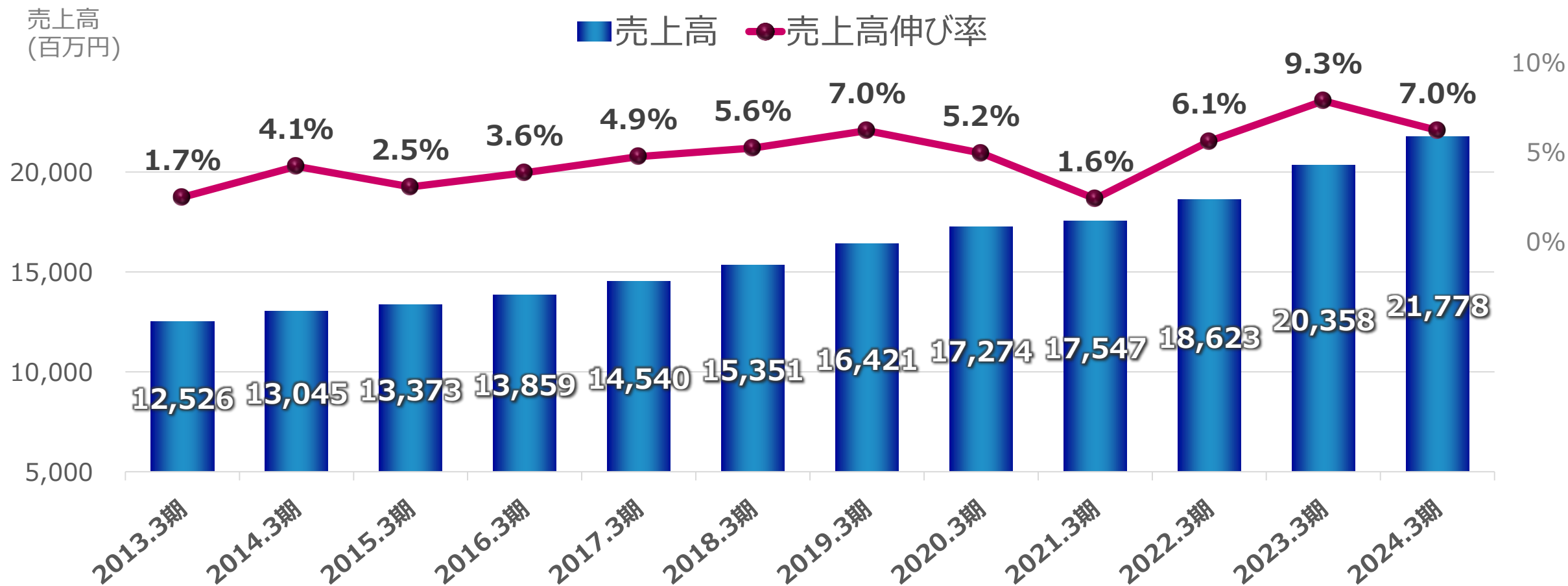


## 当期純利益

7.1%増

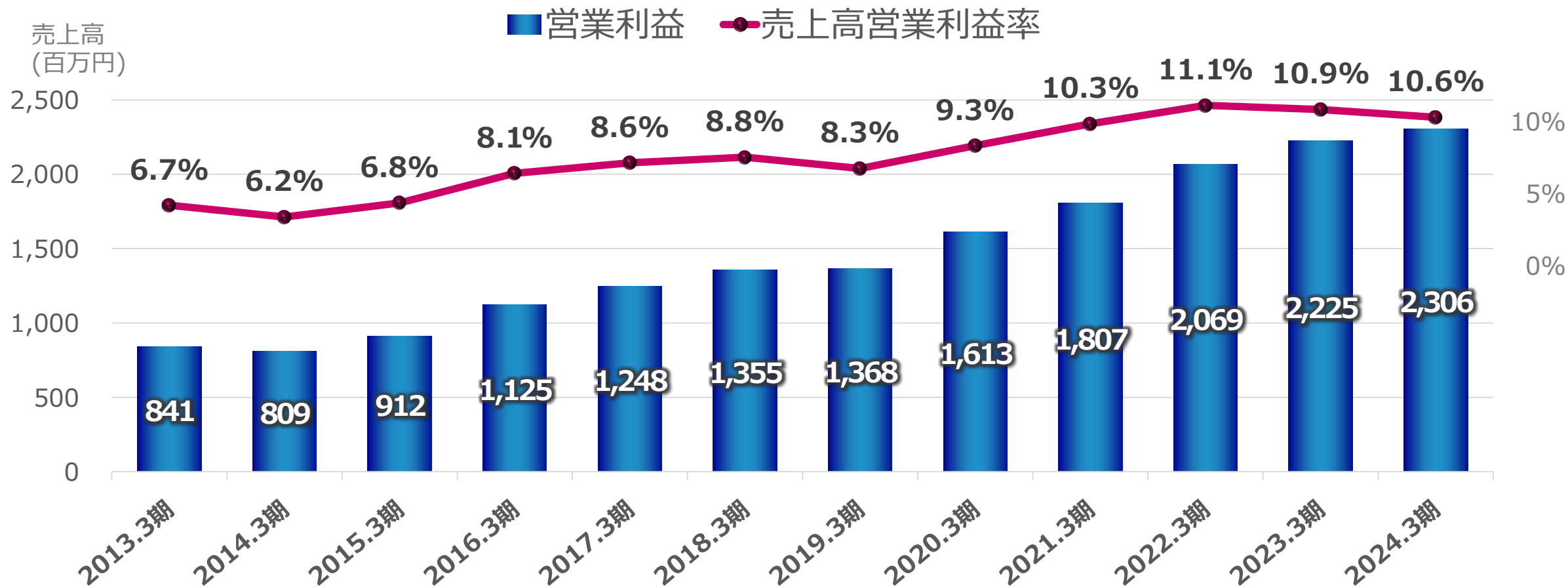


**12期連続増収**期間中の年間平均成長率は4.7%と、安定した成長を継続しております。  
 なお、当期の**売上伸び率は7.0%**となり、過去最高の売上高を更新しました。

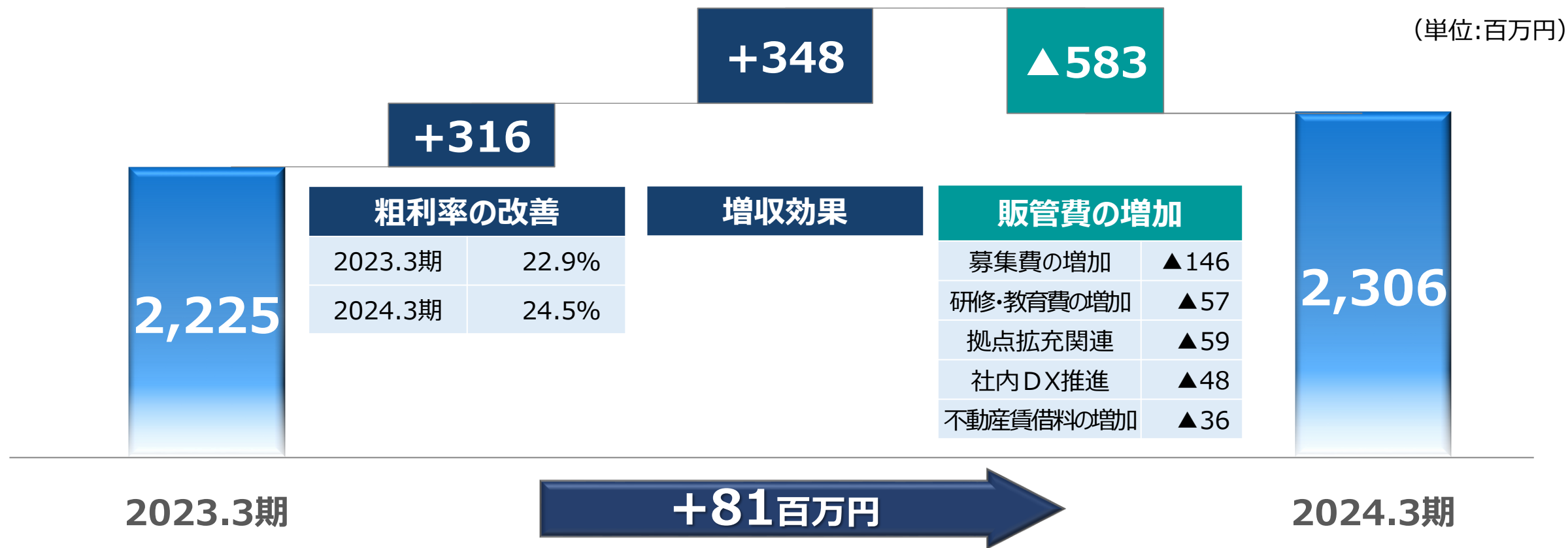




営業利益は当期まで**10期連続増益**を維持しております。特に、当期は前期に引き続き人材投資や社内DX推進等による経費が増加するなか、4期連続で**10%超の営業利益率**を維持しました。

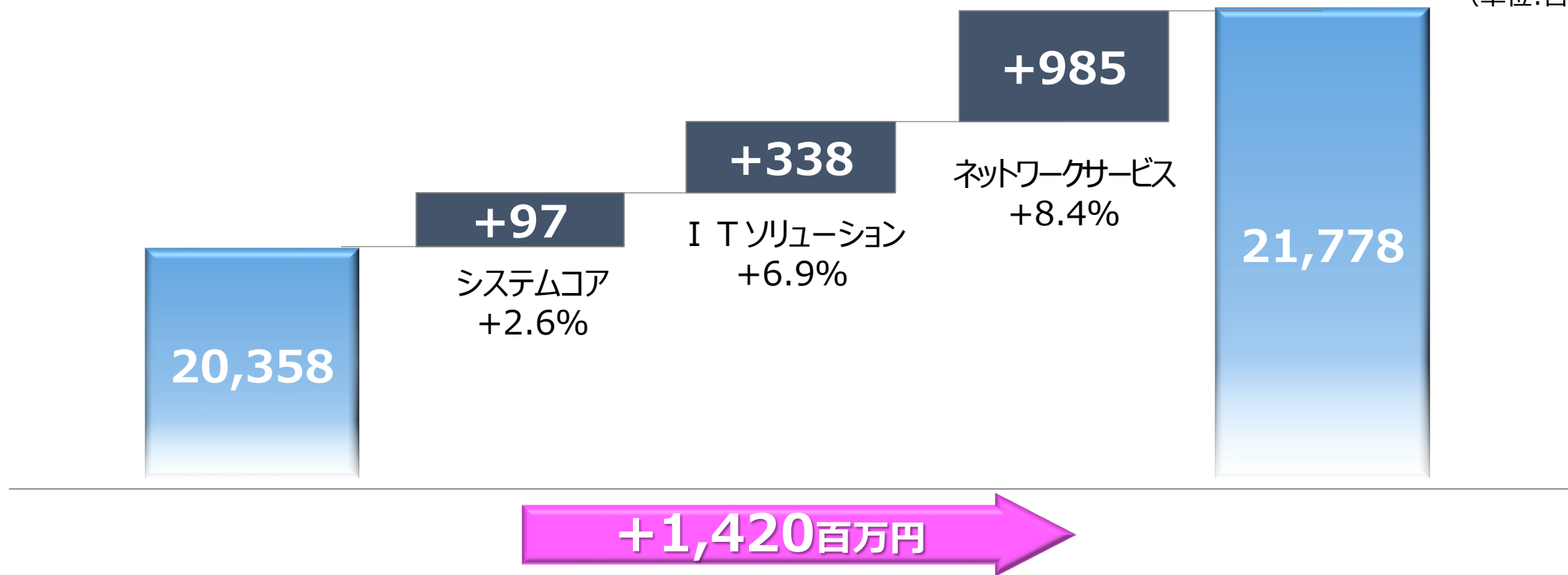


売上総利益は、従業員の処遇改善などに伴う人件費の増加を生産性向上、成長分野へのシフト等により吸収し、前年同期比で14.2%増益となりました。一方、販売管理費は新卒新人の採用が順調に進み、研修・教育やエンゲージメント向上等の人的資本拡充に向けた積極投資により、前年同期比で▲583百万円支出増となりました。



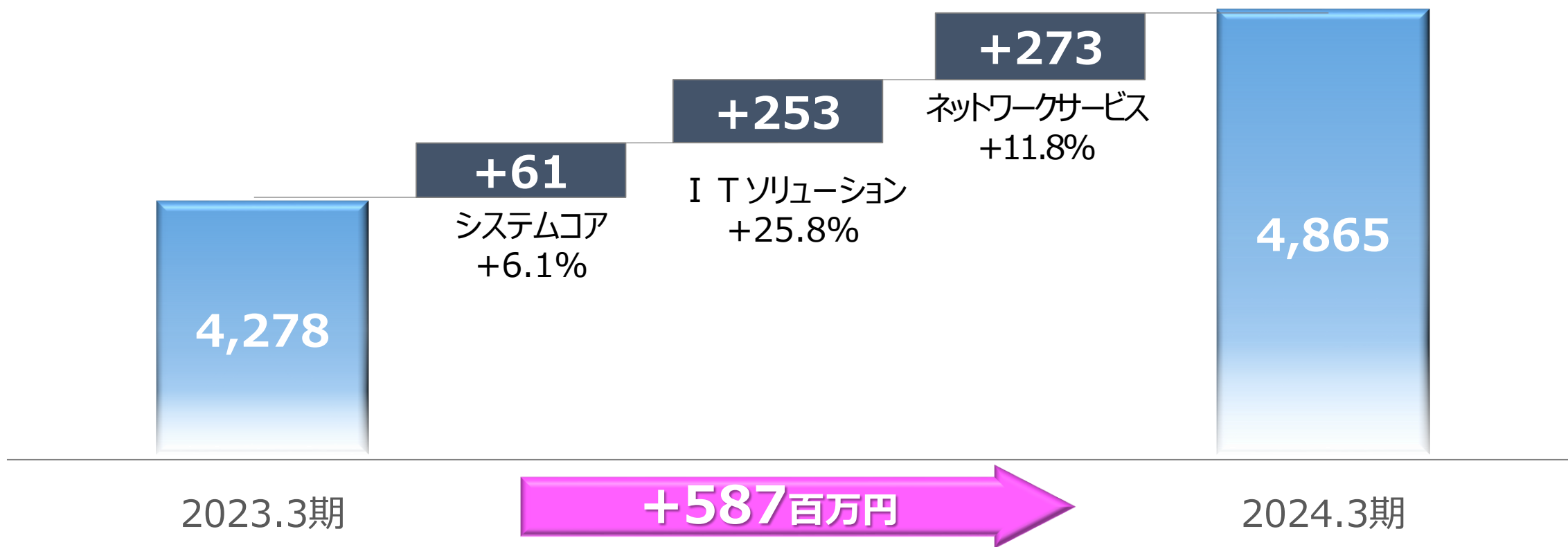
全てのセグメント売上が前年同期比増収となりました。I Tソリューション事業のモバイル関連ビジネスやネットワークサービス事業のネットワーク新規構築や運用・保守等の伸長が顕著となっております。

（単位：百万円）



全てのセグメントが前年同期比増益となりました。利益面でも I Tソリューション事業のモバイル関連ビジネスや自社開発したパッケージソフトウェアが牽引役となっております。

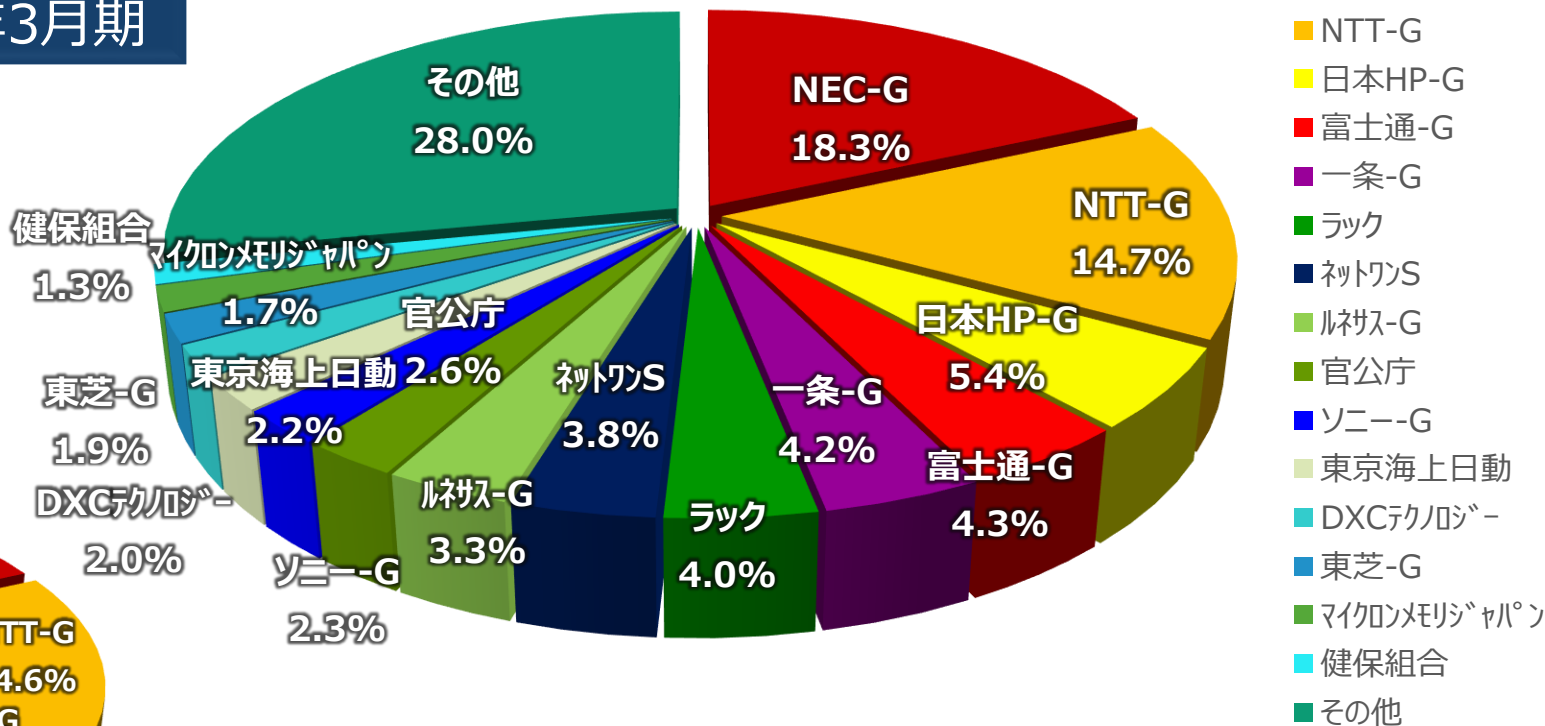
（単位：百万円）



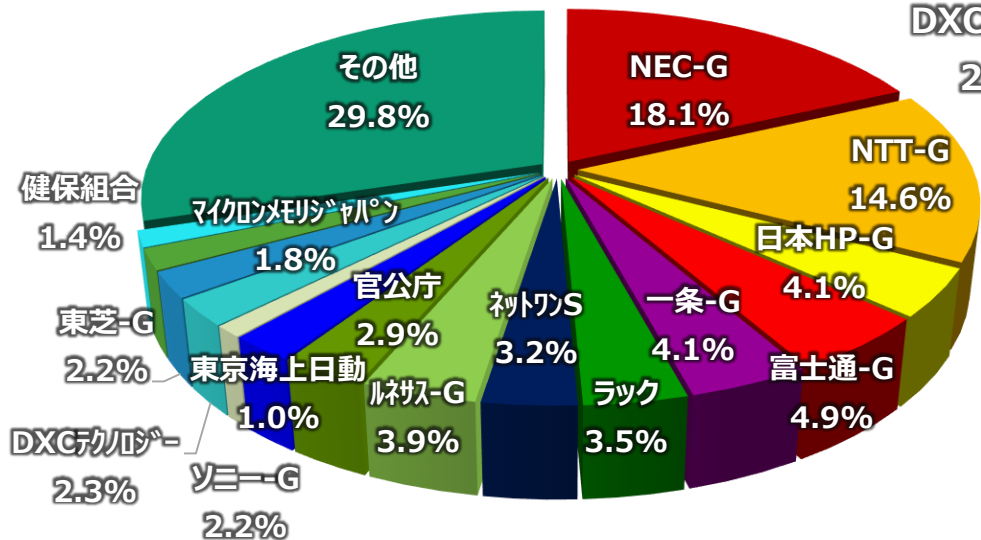
利益率はITソリューション事業の改善が顕著です。システムコア事業、ネットワークサービス事業においても売上が順調に伸長しており、人材確保のための積極投資によるコスト増を吸収し、利益率は改善しました。

	売上高		利益			
	売上高	前期比増減	セグメント利益	前期比増減	売上高利益率	前期比増減
システムコア	3,823	+2.6%	1,044	+6.1%	27.3%	+0.9pt
ITソリューション	5,239	+6.9%	1,234	+25.8%	23.6%	+3.5pt
ネットワークサービス	12,714	+8.4%	2,586	+11.8%	20.3%	+0.6pt
合計	21,778	+7.0%	4,865	+13.7%	22.3%	+1.3pt

2024年3月期



2023年3月期



### お客様別売上構成の変化

【主なシェア拡大先】

- NTTグループ 様
- 日本HPグループ 様
- ラック 様
- ソニーグループ 様
- 東京海上日動 様

【主なシェア縮小先】

- 富士通グループ 様
- ルネサスグループ 様
- DXCテクノロジー 様
- 東芝グループ 様
- マイクロメモリジャパン様

### ● システムコア事業（増収・増益）

- ✓ 今後の成長が期待されるイメージセンサーなど、車載、IoT関連の半導体設計と組み込みソフトウェア開発は堅調。
- ✓ 通信機器の設計開発、医療装置の設計開発と組み込みソフトウェアは伸長。

### ● ITソリューション事業（増収・増益）

- ✓ モバイル関連ビジネスや、自社開発パッケージソフトウェアの受注が引き続き伸長。
- ✓ 拡大する検証ビジネスやSIビジネスも含め、採算性の改善が増益面で寄与。

### ● ネットワークサービス事業（増収・増益）

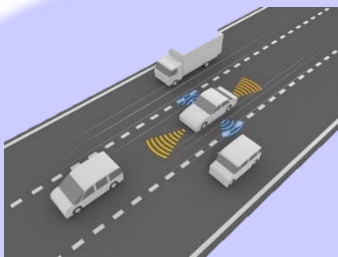
- ✓ 企業や官公庁の、ネットワーク新規構築や運用・保守、セキュリティ関連などの需要は引き続き高い。
- ✓ 受注機会を的確に捉えるために、積極的な人材投資を継続して実施。

## システムコア事業

IoT/AI時代の多分野の開発に貢献  
車載分野のCASE化に対応します

車載分野：CASE時代への対応

- ・車載用マイコン/SoC/アナログIC開発
- ・車載用組込みソフトウェア開発



通信分野

- ・通信機器の機構設計/回路設計
- ・5G通信システムの設計開発



医療分野

- ・医療用デバイス開発
- ・医療用組込みソフトウェア開発



IoT/AI分野

- ・スマートフォン用CMOSイメージセンサ/メモリデバイス設計
- ・PC/サーバー用メモリデバイス設計
- ・スマートファクトリー用SoC設計





## ITソリューション事業

アプリケーションの力でお客様の  
ビジネス発展に貢献します

## ● パッケージビジネス

- ・住宅建設会社向けの総合管理システム  
住宅マネージャの販売、導入、運用支援



## ● エンドユーザ向けSIサービス

- ・住宅建設業向けシステム開発
- ・不動産業向けシステム開発

## ● 検証サービス

- ・モバイルを中心とした実機検証
- ・アジャイルQA<sup>(※1)</sup>サービス
- ・セキュリティ診断

※1 QA: Quality Assurance (品質保証)



## ● 各種開発支援

- ・製造業生産管理システム
- ・基幹系Webシステム
- ・各種BPOサービス

## ● AI

- ・現場を変えるAIソリューション開発  
AI-OCR/自然言語処理/点群データ

## ネットワークサービス事業

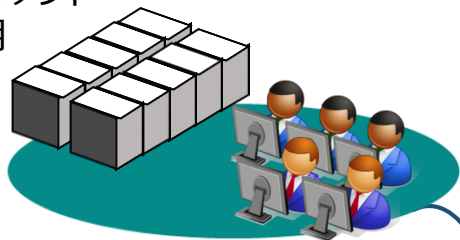
## クラウドサービス

パブリック/ハイブリッドクラウド運用  
 (AWS、Azure、セールスフォース など)  
 Office365、仮想ネットワーク構築  
 ローコードプラットフォーム導入/開発

DX社会のニーズに応えます  
 (インフラ設計・構築、運用すべてに対応)

## データセンター

データセンタマネジメント  
 クラウド基盤運用  
 障害監視



## キャリア系ベンダ

ネットワーク構築・運用支援  
 全国/ローカル5G展開支援



## 学校

GIGAスクール  
 校内Wifi導入、ICT教育環境  
 オンライン授業環境導入



## 企業

オンサイト基盤運用支援  
 仮想化基盤構築、IPネットワーク設計構築  
 テレワーク環境導入



## 病院

電子カルテ運用支援  
 オンライン診療環境導入



## ソリューションベンダ

インフラ基盤構築  
 O S S環境構築  
 基盤運用支援  
 障害監視

## セキュリティベンダ

CSIRT運用支援  
 脆弱性診断 SOC運用



Internet

3

# 前中期経営計画「TRUST50」 (2019年4月～2024年3月) の振り返り

## 1. 究極の品質

KSK品質を確立し、品質を強みにする企業集団となる

 施策事例：「かがやきプロジェクト」

## 2. 考える現場

あらゆる変化に対応し、更なる発展へ全社員が考える集団となる

 施策事例：「品質OK?」「ヨクスル」「サクサク提案」

## 3. プレミアムサービス

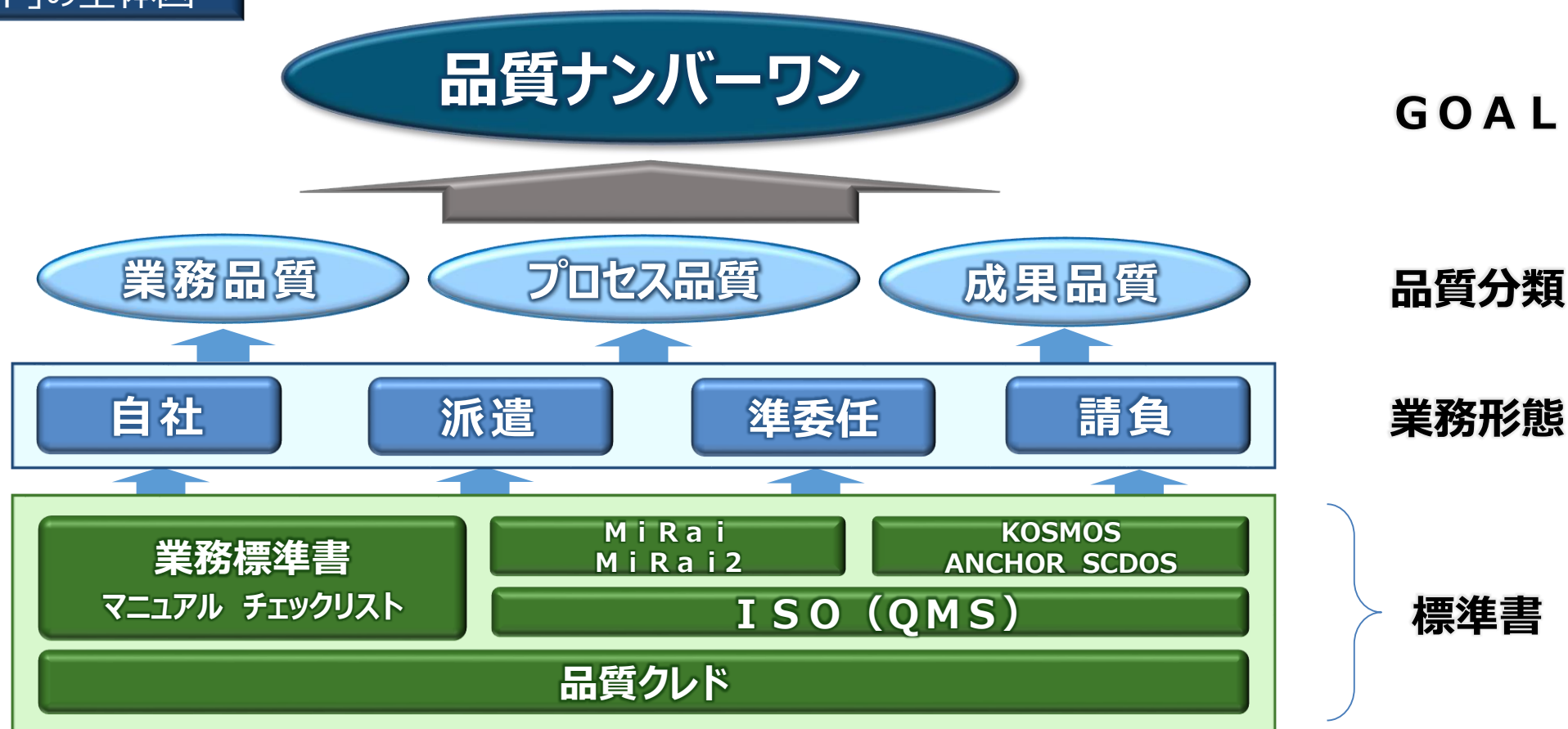
現場の強みを最大限に活かし、競合他社を圧倒するプレミアムサービスを提供する

 施策事例：「CS向上～VOC」

**社員一人ひとりが自らの業務遂行力とKSKで働くことに誇りを持ち、  
最善の顧客サービス提供を通し真のパートナーとして信頼される、そんな会社でありたい。**

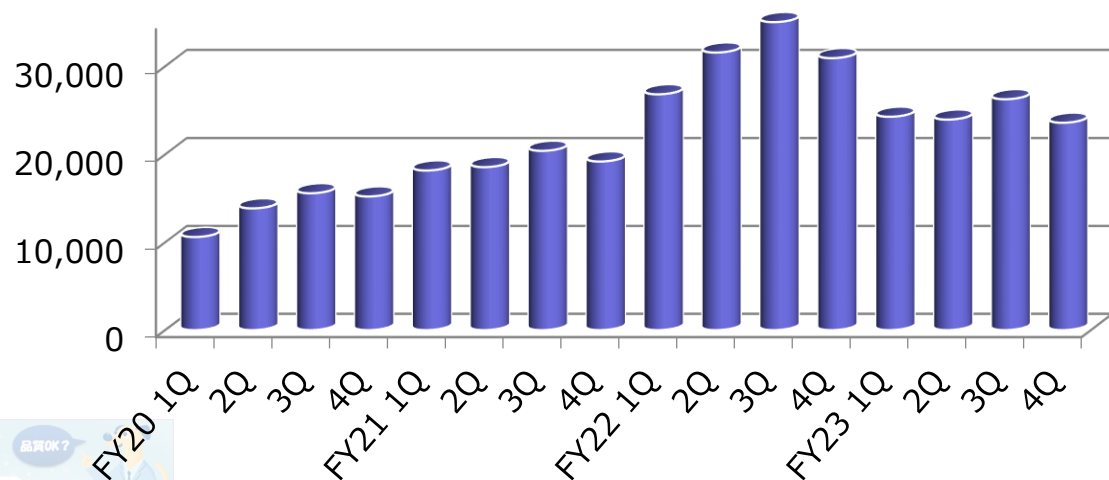
2017年4月に「品質ナンバーワン」をVISIONに「かがやきプロジェクト」を立ち上げ、「人質向上」「標準化」「自動化」の3つの取り組みを中心に、品質向上に努めております。

「かがやきプロジェクト」の全体図



更なる発展に向けて全社員が「考える現場」を実践するために、指摘しあえる風土の定着に向けた取り組みとして「品質OK?カード」や、現場での業務改善・工夫などを提案する制度として「ヨクスル」・「サクサク提案」が制度化され、活発に指摘活動や提案活動が展開されています。

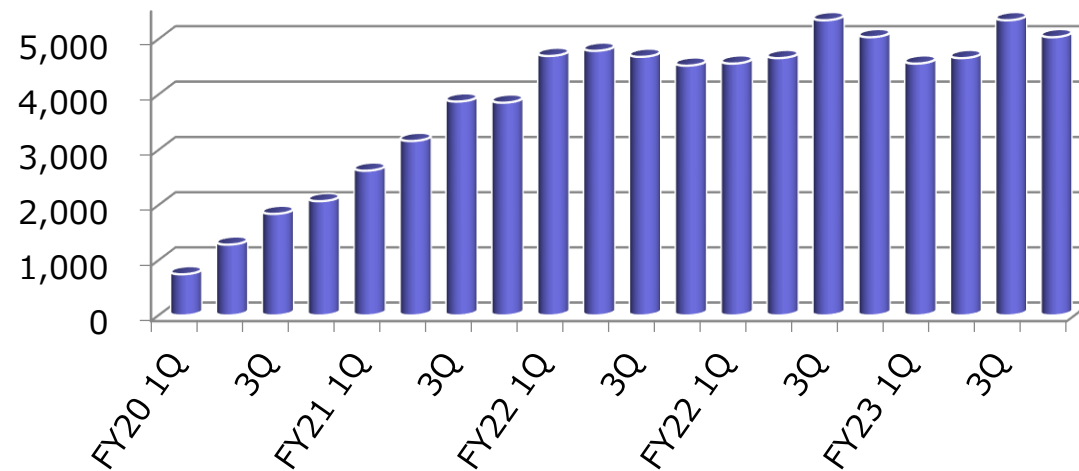
### 「品質OK?」カード受信枚数の推移



「品質OK?」は月平均約7,000枚受信  
「ヨクスル」は月平均約1,500件の提案があがっている  
(2023年度実績)



### 「ヨクスル」提案件数の推移



毎年1回、お客様に28項目におよぶアンケートを実施。回答いただいた内容はしっかりフォローしCS向上につなげております。（2023.11実績：全社平均89.6点、回答率98.4%＜312件/317件＞）

## 目的

- お客様の評価（声）に対する改善活動を行い、お客様の不満点を解決し、業績向上につなげる。

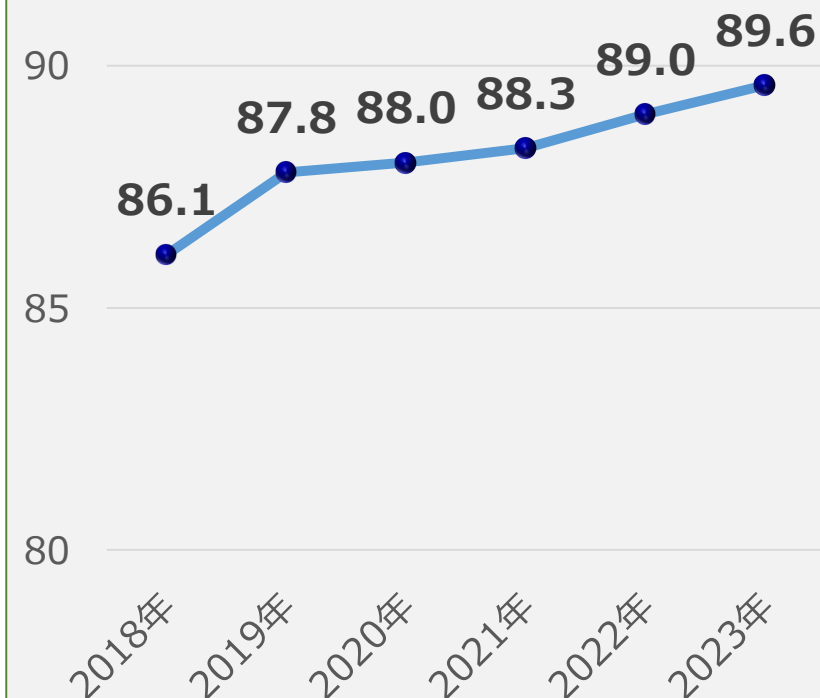
## 方法

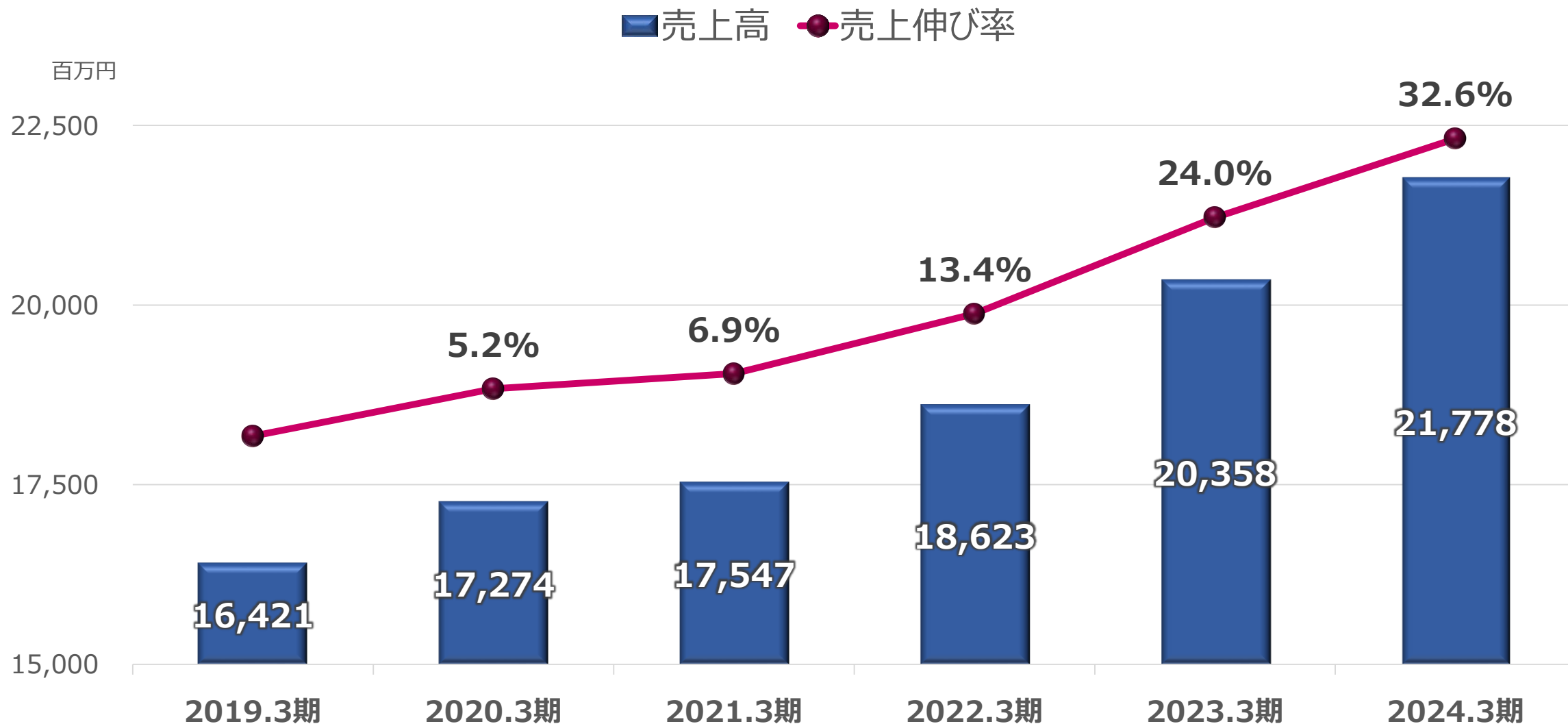
- 現場が任意で対象先を選定する
- 定点調査（毎年同時期、原則同じ質問）

## 項目

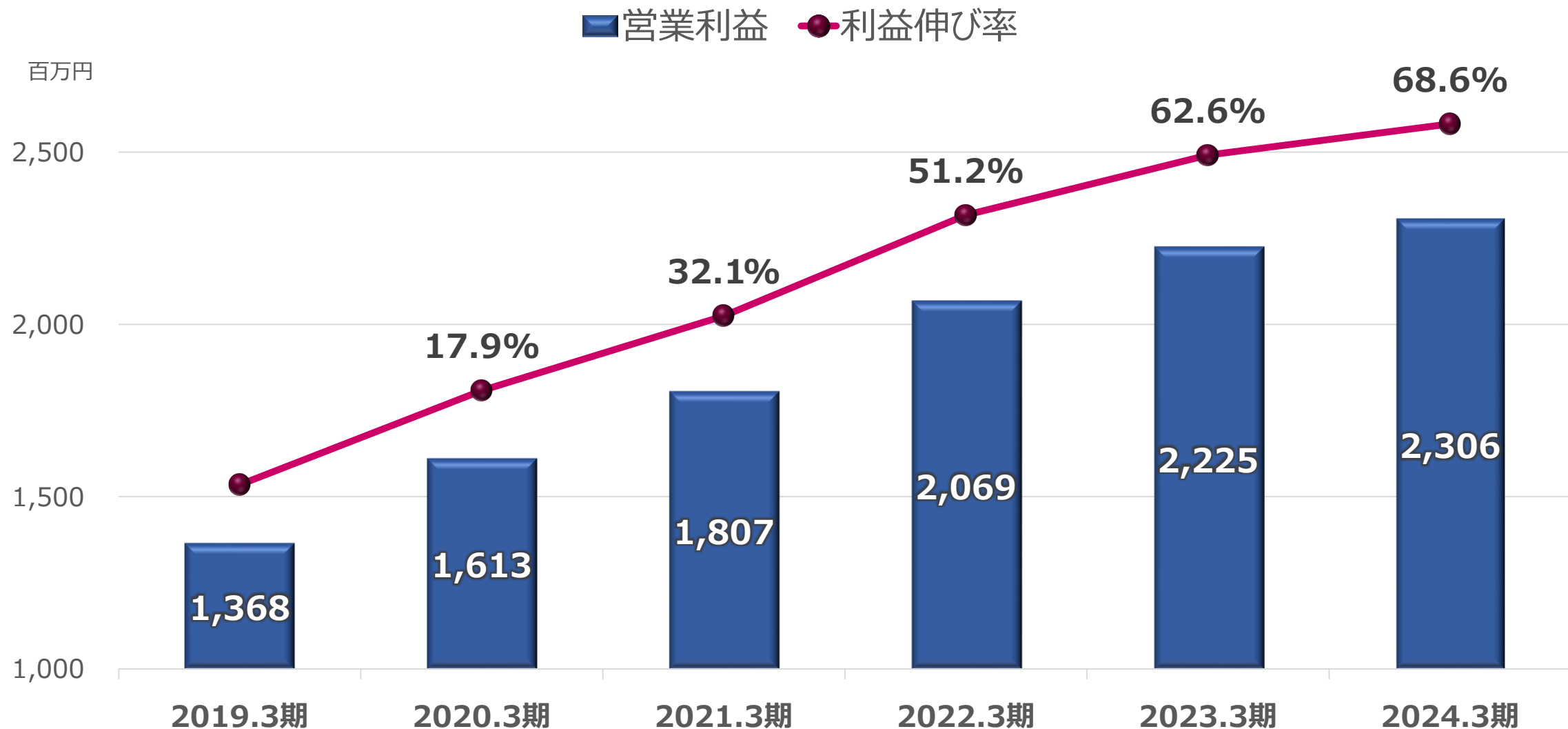
- 管理者・営業対応 ■ 技術力 ■ 人間力
  - トラブル対応等 ■ セキュリティ ■ マナー ■ 5S ■ 総合
- 合計28項目

## 調査結果推移









4

# 中期経営計画「Blue Wind ChapterⅡ」 (2024年4月～2027年3月)

KSKグループでは、社会・市場・自社それぞれの環境について、以下のとおり認識しています

社 会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脱炭素社会</li> <li>2. 人手不足</li> <li>3. 働き方改革</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 環境／人権問題など社会課題（SDGs）への取組みが企業に強く求められている</li> <li>2. コロナ禍が明け需要の拡大とともにあらゆる産業で人手不足が顕在化している</li> <li>3. 2015年以降様々な職場法制が整備されたことにより、労働時間をはじめとする働き方が見直され、労働者の意識も変化している</li> </ol>
市 場	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. DXと内製化の拡大</li> <li>2. 受託からクラウドへのシフト</li> <li>3. 生成AIの普及</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. DXの進展に伴い、IT市場拡大の一方においてシステムの内製化が進行している</li> <li>2. 個別システムの受託開発型からクラウドなどのサービス提供型へと市場はシフトしている</li> <li>3. ChatGPTをはじめとする生成AIが急速に普及し、ITの現場で活用が進んでいる</li> </ol>
K S K	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Age Diversity</li> <li>2. 組織活力の低下</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 30歳以下の若手世代が5割超となり、ベテラン世代との間の意識や価値観の違いが生む様々な課題が組織内で表面化しつつある</li> <li>2. 社会の価値観の変化に社内施策の運用が適応不全となり、前向きな意欲や競争意識の低下と依存や和を優先する風潮が社内の組織活力の低下を招きつつある</li> </ol>

KSKグループは、環境変化に適応し、さらなる企業価値の向上と持続的成長を実現すべく、以下のとおり基本方針を定めました

1. KSKを強靱化し再生することによってVUCA環境を克服し創業100周年の未来に向けて持続的成長の基盤づくりを行います
2. KSKの事業活動の価値を環境価値・社会価値と中・長期的に整合させる経営革新（※SX）に取り組めます
  - 1) 事業の強靱化
  - 2) SXへの取り組み
  - 3) 人と組織の強靱化

KSKグループの経営全体フレームは以下のとおりです

Operation

KSK WAY

事業の強靱化

SXへの取組み

人と組織の強靱化

=

Mission  
(経営理念)

敬天愛人

Vision  
(ありたい姿)

ブランドメッセージ

Value  
(価値観)

行動基準 KSKクレド 31の想い  
KSKスタンダード

風 土

健全性 活力 エンゲージメント

KSKグループは、基本方針に沿って、以下の3点について重点課題として取り組んでまいります

### 1. 事業の強靱化

- ・優良顧客主体の安定した既存ビジネスを強化しつつ、一方において市場環境の変化に応じた高付加価値の新規ビジネスを創出します
- ・技術力とPJ生産性の向上によりPH単価を高め高収益体質への転換を実現します

1) 収益力強化

2) 技術力向上

## 2. SX (Sustainability Transformation) への取組み

- ・人的資本の充実を軸に中長期的に事業基盤を強化します
- ・お客様サプライチェーンの中核として、SDGsなど環境課題・社会課題への取組みに主体的に貢献することで、安定的・持続的な成長を実現します
- ・エシカルを調達・購買行動の原則とします

- 1) HR部門の体制強化
- 2) 環境関連の外部審査受審
- 3) 地域貢献活動の継続

### 3. 人と組織の強靱化

- ・採用、育成、DE&I、健康経営、エンゲージメントを重要強化項目とし、人的資本投資を強化・拡大します
  - ・働く環境の整備と処遇改善によりWell-beingな職場を提供します
  - ・ゆる甘チームから革新的で創造性豊かな澁刺チームへの転換を促し、強くてしなやかで市場競争力の高いチームづくりを行います
- 1) 若手教育の強化
  - 2) 女性・若手の登用
  - 3) 人事・処遇の改善
  - 4) チーム活動の変革



KSKグループは、以下のとおり、人的資本経営と環境経営を同時に推進し、経営革新（SX）に取り組んでまいります

## KSKのSX Sustainability Transformation



環境や人権に配慮し倫理的な調達・購買行動を基本とすることにより、持続可能な社会への取組みに貢献します

EMS EcoVadis CDP



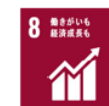
地球環境に優しい事業活動を展開し、社員全員で環境保護活動を推進することで持続可能な社会づくりに貢献します

ECOCLUB オープンカレッジ



健康的で安心して働くことができる職場環境を整備し、社員が働きがいを持って自己成長を実現できる機会を提供します

ホワイト500 健康経営銘柄 ワクワク健康プラン EPA



人と人、人と組織が信頼と共感でつながっている健全で活力の漲るやりがいを感じることでできる組織風土を醸成します

チーム制 気づき日報 読書会 スマイルカード BIC 表彰制度 DKC



人材育成をKSKが持続的な成長を実現するための最重要経営課題と位置づけ人間力と技術力を備えた人材を育成する

売上の2%の教育投資 技術力重視の処遇 現場OJTの強化



多様な人材の採用、登用を促進すると共に、様々な意見や価値観を尊重し、誰もが生き生きと活躍できる企業文化を醸成します

女性管理職比率10% 障害者雇用率向上





環境方針（基本方針）

株式会社KSKは、この美しい地球を守るために自然環境に優しい事業活動を展開し、私たち全員の力で環境保護活動を推進します。



Team KSK ECO CLUB (全社清掃活動)



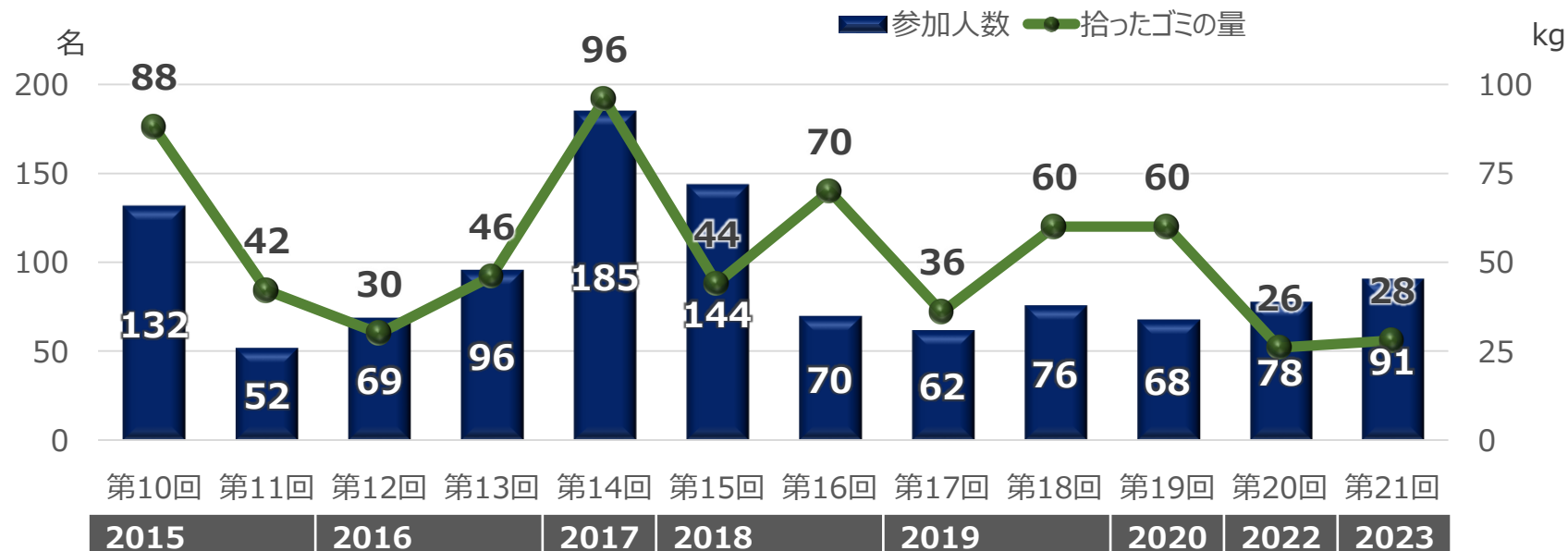
稲城市公共施設アダプト制度



長年にわたる地道な広域清掃活動・地域清掃活動が評価され、2023年5月、稲城市長より感謝状が贈られました。

KSKオープンカレッジ

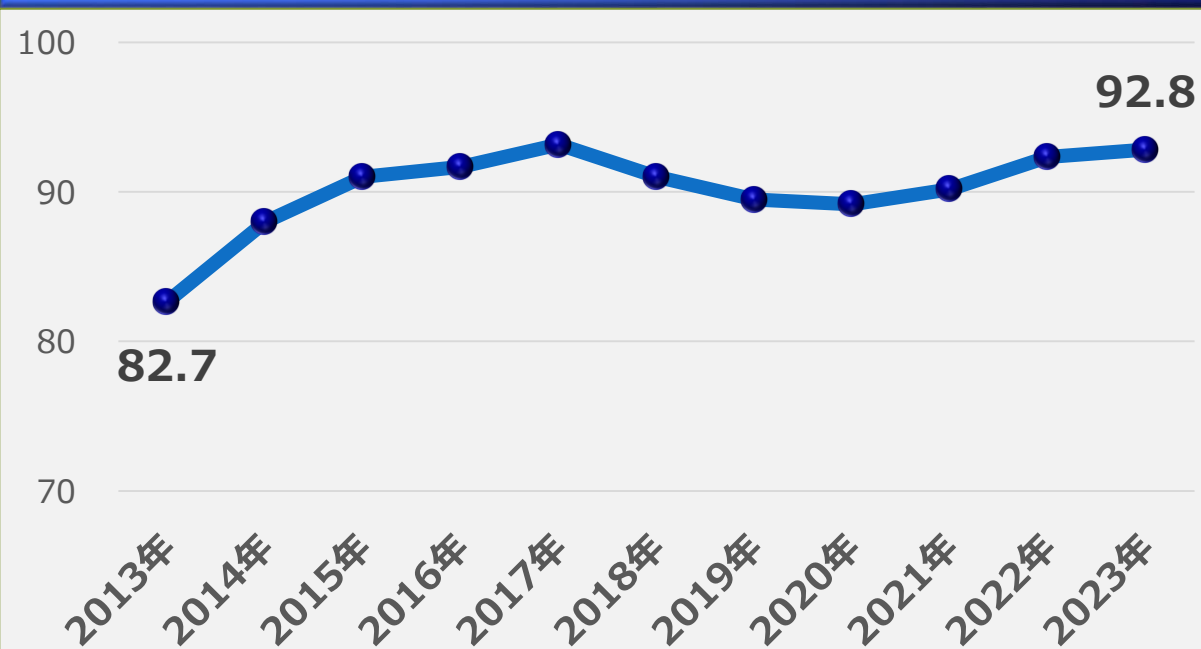
地域貢献、地域コミュニティとの調和に加え、未来のIT人材育成に資するIT講座を定期的に開講しています。





## エンゲージメントサーベイ

## 調査結果推移



	2013年度	2023年度	ポイント差
意見	83.3	95.8	+12.5
期待	88.3	95.3	+7.0
成長	88.0	93.2	+5.2
強み	80.0	91.7	+11.7

- ✓ 自分の**意見**を聴いてもらえる環境にある
- ✓ 何を**期待**されているかが明確になっている
- ✓ 仕事上で学び**成長**できると感じている
- ✓ 自分の**強み**を活かした仕事をする機会がある

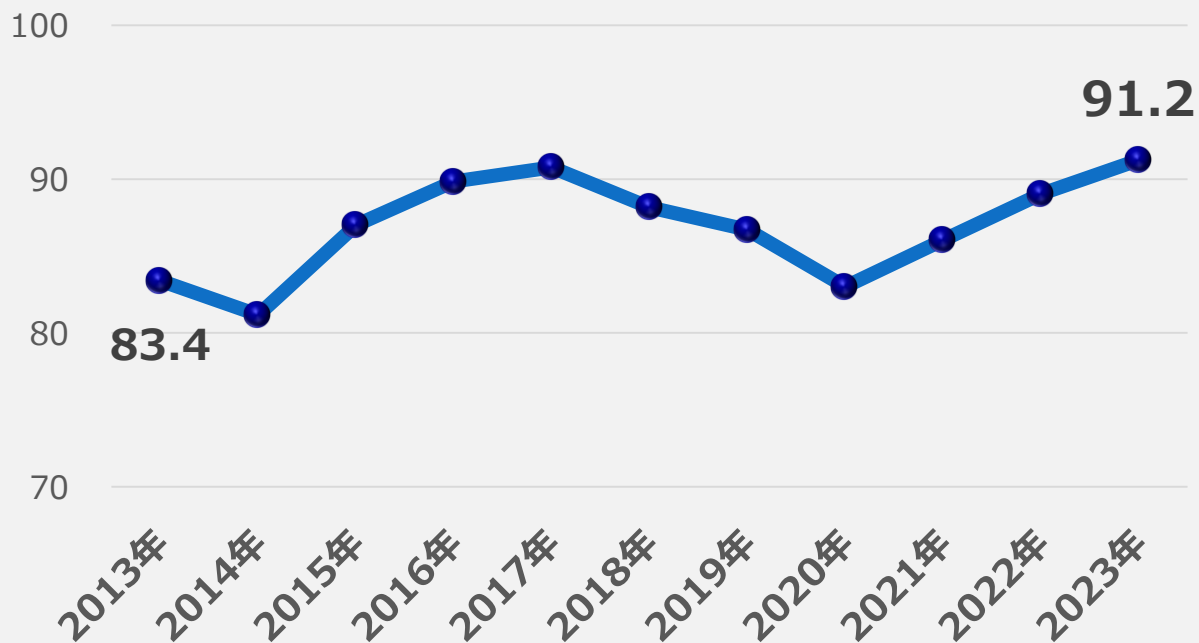
エンゲージメントサーベイを通じ、従業員の「働きがい」16項目を定量的に測定し、2013年度比でサーベイ結果は12.2%向上しております。

★エンゲージメント： ① 個人は組織への主体的参加により存在意義を見出し、② 組織は個人の働きがいを支援し、③ 個人と組織の成長が相互に連動します。



## チームカサーベイ

## 調査結果推移



	2013年度	2023年度	ポイント差
目標と役割	86.5	95.8	+9.3
成果	81.8	93.8	+12.0
認め合う	87.5	89.5	+2.0

- ✓ チームの**目標**が明確であり、メンバーが一丸となって努力している
- ✓ チーム活動を通じて主体的に行動する機会が増え、CS・品質向上に**成果**が出ている
- ✓ お互いの価値観を尊重し**認め合い**、課題や悩みを話せる環境となっている




チームカサーベイを通じ、当社成長の基盤である「チーム制」における「協働の場」「成長の場」「帰属の場」としての従業員の意識を定量的に測定し、2013年度比でサーベイ結果は9.4%向上しております。

★**チーム力の向上**：① 現場力向上を通じたグループの競争力強化、② 同時にビジネスの実践による社員の自己実現を図るものです。

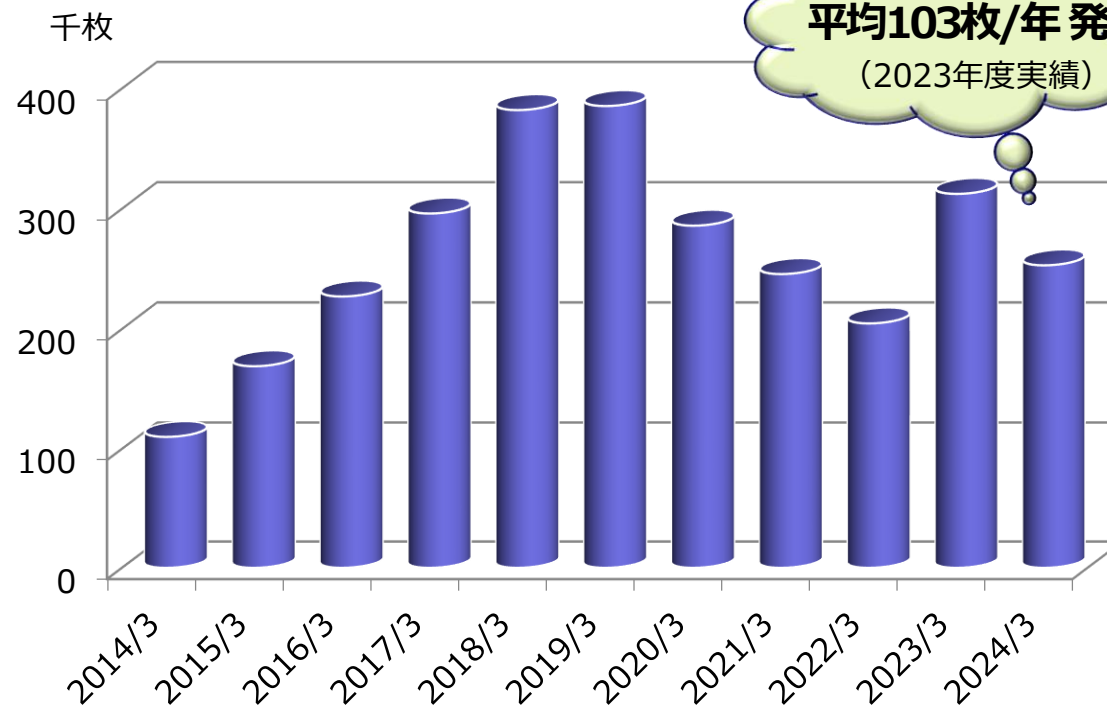


エンゲージメントを高める明るい職場づくりの施策として、“**ありがとうの気持ち**” を伝える  
 «**スマイルカード**» を全社展開しております。

## 讚え合う良い風土

- 
 お互いを褒め合うことでお互いの良いところを伸ばし合う
- 
 相手への関心が良きチームワークへとつながる
- 
 感謝し合うことの積み重ねが相手を思いやる気持ち、助け合う職場をつくる

### Smile Card発行枚数の推移



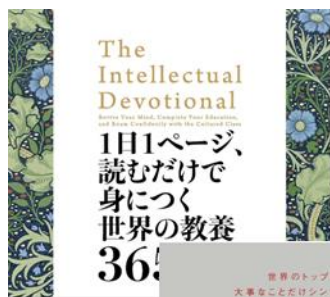
『ありがとう』  
の言葉の連鎖が  
結束力を強める

1名あたり  
平均103枚/年発行  
(2023年度実績)



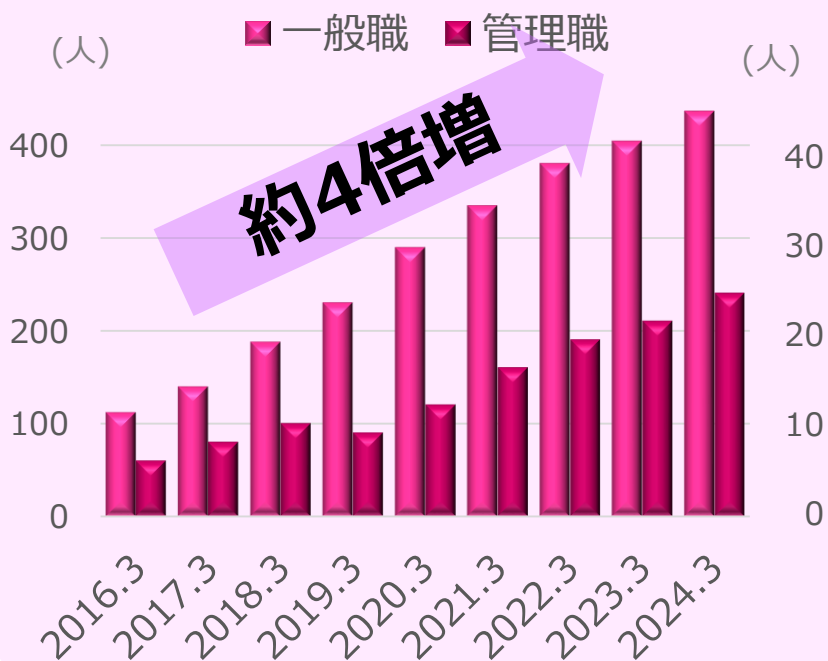
チームのメンバーが自分たちで選定した本を読み、その感想や意見を述べ合うことで、チームメンバーの相互理解を深める読書会を実施しています。2023年度は10,099冊を配付し、2,088名が読書会に参加しました。

その人が読んでいる本を知ることは、**その人を知ること**である



KSKグループでは、性別・年齢などに関わらず誰もが能力を最大限に発揮できるような環境の整備を進めています。女性の活躍推進に向けては、管理職に占める女性の割合が低いことなどを課題と認識し、環境整備に向けた施策を展開しています。これにより、女性社員・女性管理職の人数はSDGsがスタートした2015年度と比較し、いずれも約4倍に増加しています。なお、女性の育休取得後の復職率は引続き100%となっております。

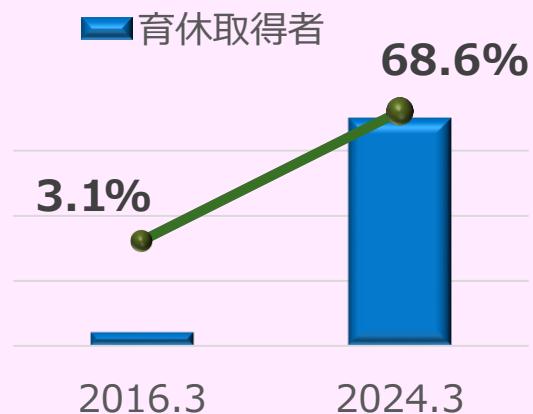
## 女性社員・管理職の推移



## 【ご参考】

## 男性の育児休暇取得状況

女性の職場復帰を促す男性の育児休暇取得率は2024.3期で68.6%となっております。



## 男女の賃金の差異

※ KSK単体ベース

	従業員数 (人)	平均年齢 (歳)	平均勤続 年数 (年)	平均年間 給与 (千円)
男性	1,386	36.1	11.1	5,440
女性	460	30.9	5.9	4,581
全体	1,846	34.8	9.8	5,280

※ 同一労働の賃金に差はなく、男女の賃金に差異が生じているのは、勤続年数や等級別人数構成の差によるものであります。



人的資本の拡充が経営の最優先課題と捉え、技術研修に加え人間力研修にも力を入れ、技術力と人間力が共に優れた人材の育成に努めています。

### 【自立したエンジニアの育成】

人間力研修	技術研修
新入社員向け	システム・ネットワーク分野
若手社員向け	ソフトウェア分野
中堅社員向け	組込みソフトウェア分野
管理者向け	ハードウェア分野

年間カリキュラム（120種）

### 【教育機関の設置】

専任講師：8名

研修設備：518席（最大）、13研修室、研修寮あり



技術力と人間力のバランスが取れた人材育成制度

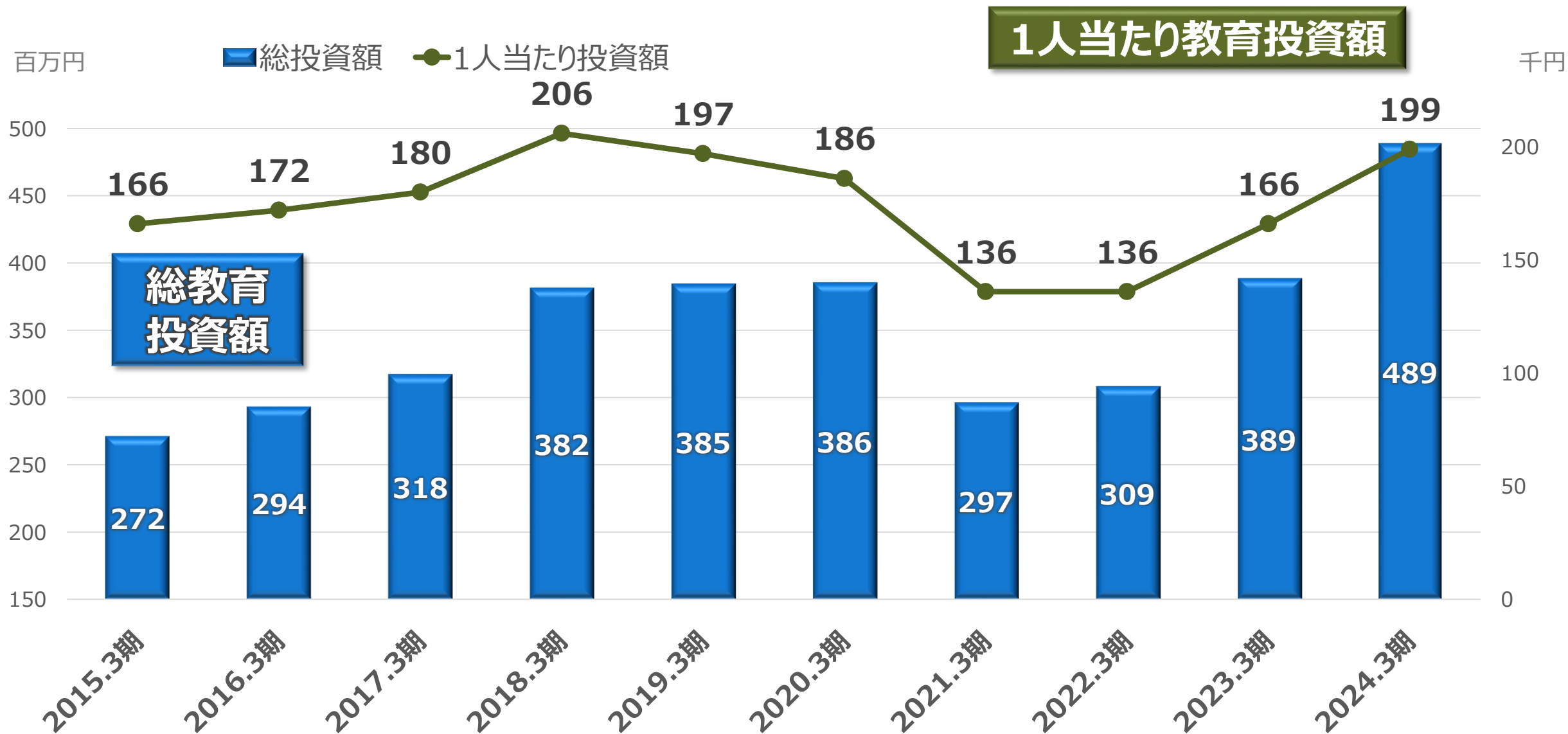


新たに1フロア全面拡張した研修室

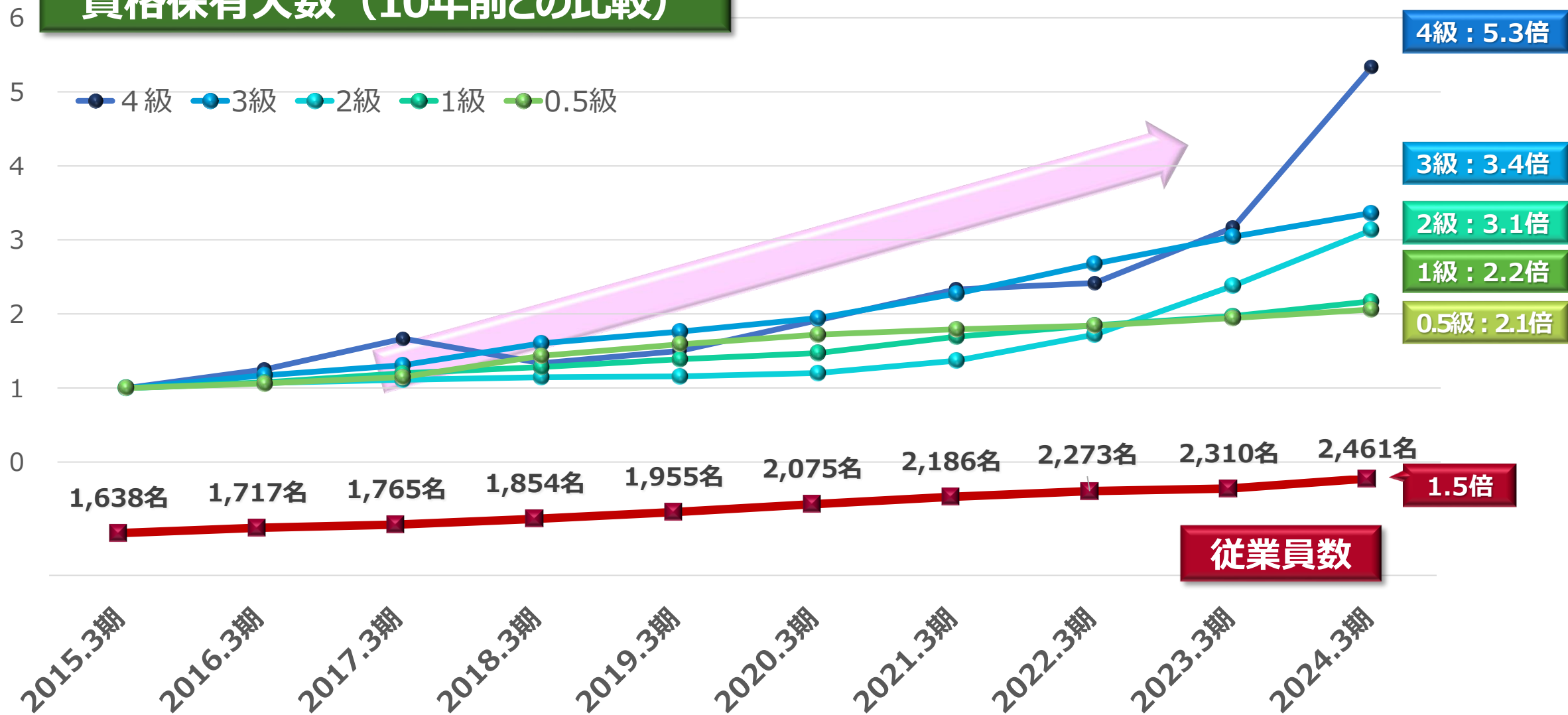


明るく開放的なKSKカレッジ受付





## 資格保有人数（10年前との比較）



当期の主な資格の取得状況は以下のとおりです。当期1年間の総資格取得個数は1,696個で、当期末の社員1人あたりの平均資格保有数は4.31個となりました。（合計：10,534個）

資格	取得人数	2023年度取得者数
PMP	364名	28名
LPICレベル3	205名	16名
応用情報技術者	100名	20名
VMware認定プロフェッショナル	166名	53名
Oracle Master ゴールド/プラチナ	56名	11名
AWS認定プロフェッショナル/スペシャリティ	66名	48名
Oracle認定Java プログラマー ゴールド	11名	5名
情報処理安全確保支援士	38名	6名
Azure認定プロフェッショナル/スペシャリティ	95名	66名
Python 3 エンジニア認定基礎/データ分析	189名	73名

平均資格保有数 4.31個/人

2023年度 年間資格取得個数 1,696個

(2024/3/31時点)

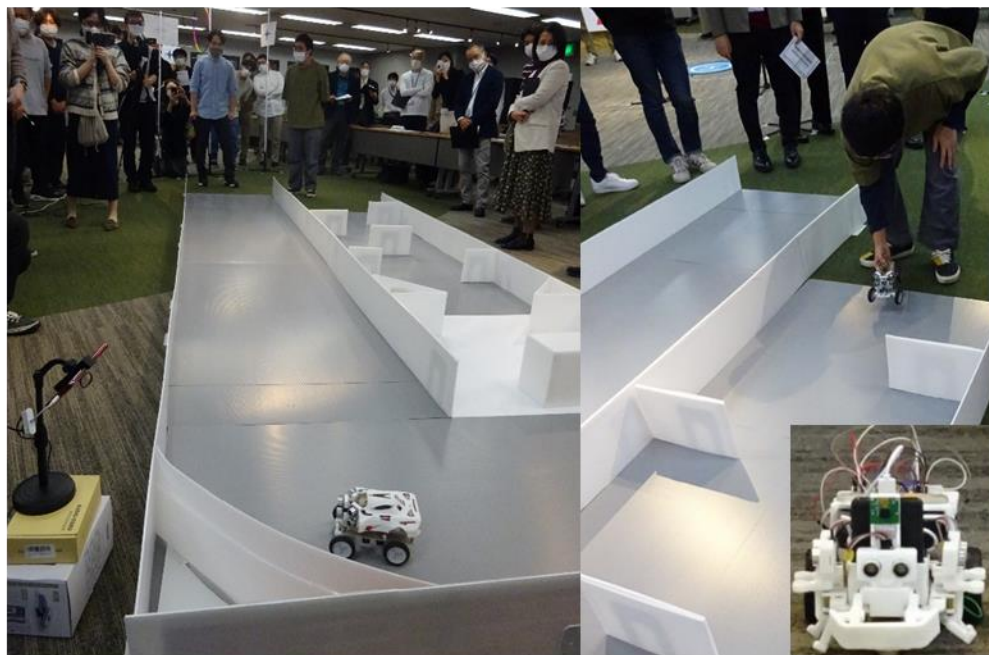


## 技術コンテスト・技術コミュニティ

経営トップも参加する全社技術力向上委員会では、各セグメントや組織全体の中期的技術力強化に向けた具体的な目標と実現方法を設定し、活動しております。2022年度に実施した技術コンテストや技術コミュニティにより、社員が新たな技術に楽しみながら触れ合うような取り組みも併せて実施しております。



## 2023年度 技術コンテスト（ミニ4駆とドローンを使ったスマートリレーコンテスト）の様子





KSKグループの長期的、継続的な成長を実現するためには、その主体である従業員一人ひとりの健康が不可欠であると考え、2014年10月に「健康経営宣言」を掲げ、代表取締役社長が健康経営担当の最高責任者となり、「心・技・体」三位一体の人づくりに取り組んでおります。

## 健康経営の主な取り組み

1

### エンゲージメント重視の経営

上司や仲間と支え合う心の「絆」の形成

2

### 全社禁煙宣言

2015年11月に「喫煙者ゼロ」を達成し、継続中

3

### わくわく健康プラン

社員一人ひとりの健康促進プログラムの展開  
(参加率64.9% ※2023年度実績)

4

### 定期健康診断の受診

**定期健康診断受診率100%**

(KSKは21年連続で100%受診を継続中)

5

### エンジェル アシスト

健診結果の有所見者100%フォロー活動  
(フォロー率85.7% ※2023年度実績)

6

### 長時間勤務撲滅

長時間勤務モニタリング制度による事前チェック  
(KSKの月間60H以上残業実施者：延べ17人/2023年度)



# 「健康経営銘柄」に選定

2024年3月、経済産業省と東京証券取引所が共同で、上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選出する「健康経営銘柄」に **6年連続で選定** されました。



2024

健康経営銘柄

Health and Productivity

## 「健康経営銘柄2024」選定企業（27業種53社、業種別）

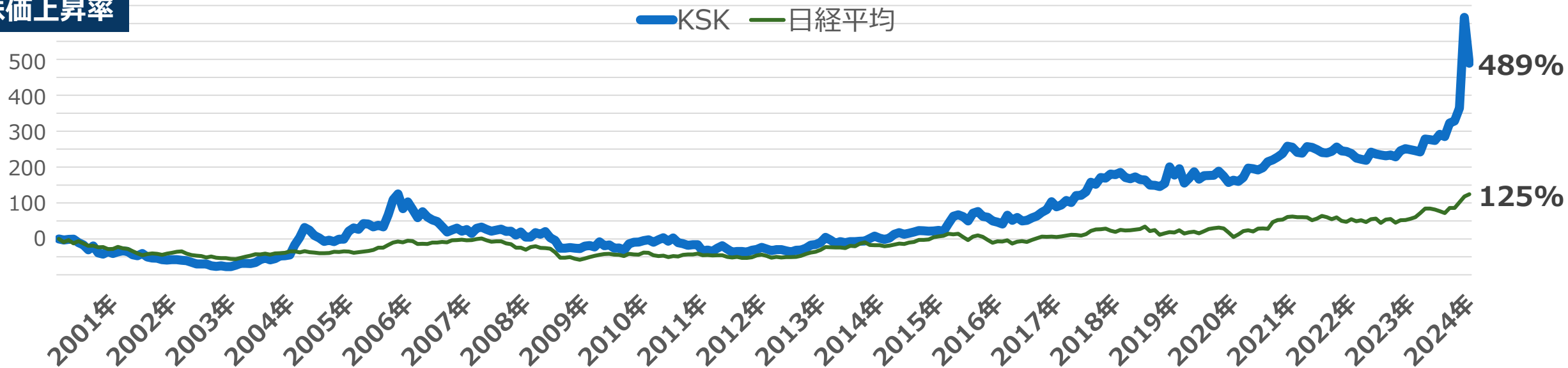
業種	銘柄コード	企業名	選定回数
情報・通信業	9434	ソフトバンク株式会社	2回目
	9682	株式会社D T S	2回目
	9687	株式会社K S K	6回目
	9719	S C S K 株式会社	10回目
	9759	株式会社N S D	初選定

出典：経済産業省ホームページ



あわせて、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人（ホワイト500）」にも **8年連続で認定** されました。

## 株価上昇率



ITバブル崩壊

リーマンショック

東日本大震災

新型コロナウイルス

ISO14001認定取得

チーム制導入

CS活動開始

読書会制度導入

BIC制度導入

Smileカード制度導入

5S活動開始

健康経営宣言

禁煙運動

ブランドメッセージ制定

品質向上プロジェクト

ホワイト500認定

健康経営銘柄選定

全社技術力向上委員会設置

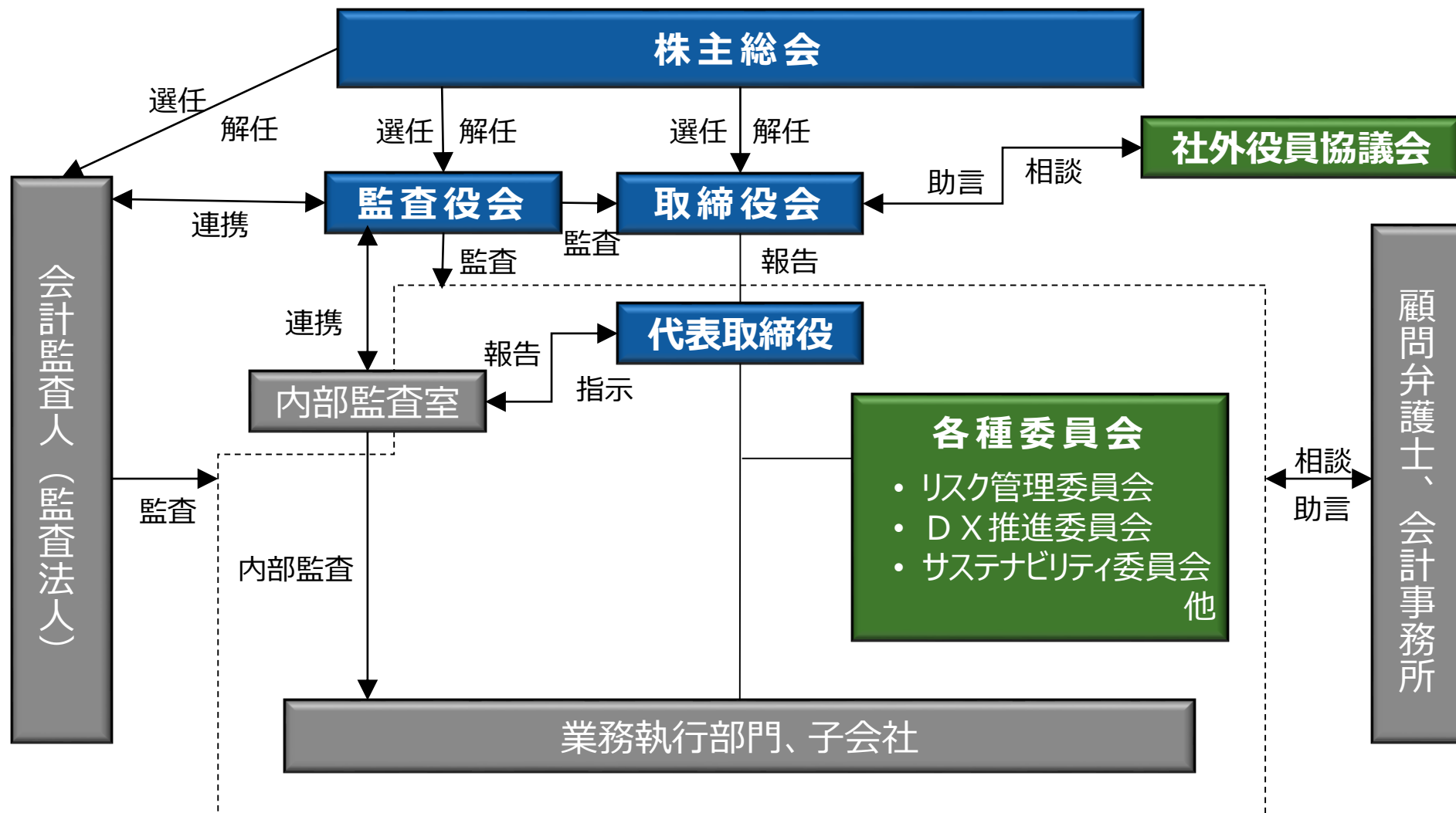
サステナビリティ基本方針制定

KSKグループは、3つの重点課題への取組みを通じ、資本効率の向上および各ステークホルダーとの関係強化を図ってまいります

			2023基準値	2026目標値	
財務KPI	売上成長率	3年間累計	—	26%	
	ROE	2026年度	11%	12%	
	配当性向	2026年度	30%	50%	
人的資本KPI	エンゲージメント指数	Eサーベイ 健康経営	93.8p	97.0p	(単)
	DE&I指数	女性管理職比率	7.1%	10%	
	教育投資指数	教育投資額 技術力向上	75.6p	87.5p	
コンピタンスKPI (現場力)	チーム力指数	チームカサーベイ	91.2p	93.0p	
	品質指数	品質KPI シン5Sスコア	42.3p	60.0p	
	CS指数	VOCスコア	89.7p	90.0p	

※ K P I の指数項目は、社内管理指標を指数化してP表記しています





# 4-24 コーポレートガバナンス

## 社外役員協議会

- ✓ 非執行部門という共通性を持った社外役員等からなる「社外役員協議会」は、当社経営陣から独立した中立的な見地から、取締役の選任プロセスおよび報酬等の決定プロセスに関与するなど経営の客観性・透明性を高めております。
- ✓ 当社グループの役員選任の基準と手続を定め、社内役員および社外役員それぞれの選任基準を満たす候補者を選定の上、社外役員協議会に提示しその協議結果を付して取締役会において決議しております。

## リスク管理委員会

- ✓ リスク管理の全社的推進とリスク管理に必要な情報の共有化のための指導・支援および諮問
- ① リスク管理の全社的推進
  - ② リスク管理に必要な情報の共有化
  - ③ リスク管理に係る事項について諮問
  - ④ リスク管理の運用も含めた管理統括

## D X 推進委員会

- ✓ ITに関する具体的な方針決定、運営、経営者に対する諮問
- ① 情報システムに関する活動のモニタリング等
  - ② 技術採用指針明確化
  - ③ 活動内容の経営者への報告
  - ④ 意思決定支援のための情報の提供
  - ⑤ 基幹業務システム委員会との協調

## サステナビリティ委員会

- ✓ 「サステナビリティ基本方針」を踏まえ、コーポレートガバナンス・コード等に対応し、関連諸施策を推進・管理、取締役会への報告
- ① 「環境」、「人権」、「健康・労働環境」、「公正取引」、「危機管理」の各テーマ

## KSK-CSIRT

- ✓ サイバーセキュリティ対策

5

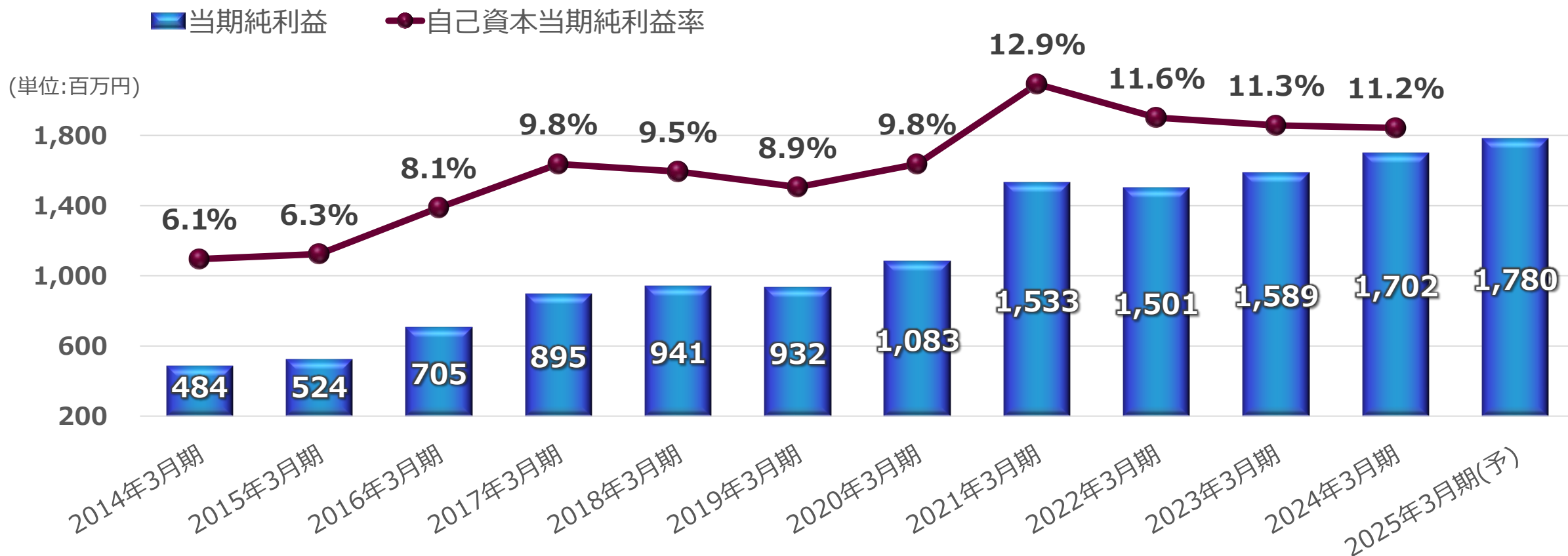
## 業績予想

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期 (予想)	対前期比
売上高	21,778	23,400	6.8%
営業利益	2,306	2,400	4.1%
経常利益	2,381	2,480	4.1%
当期純利益	1,702	1,780	4.6%

	2024年3月期(予定)	2025年3月期 (予想)	配当性向
配当金	226円 (普通配当:88円、記念配当:138円)	120円	40.3%
	配当性向 普通 30.9% 総額 79.3%		

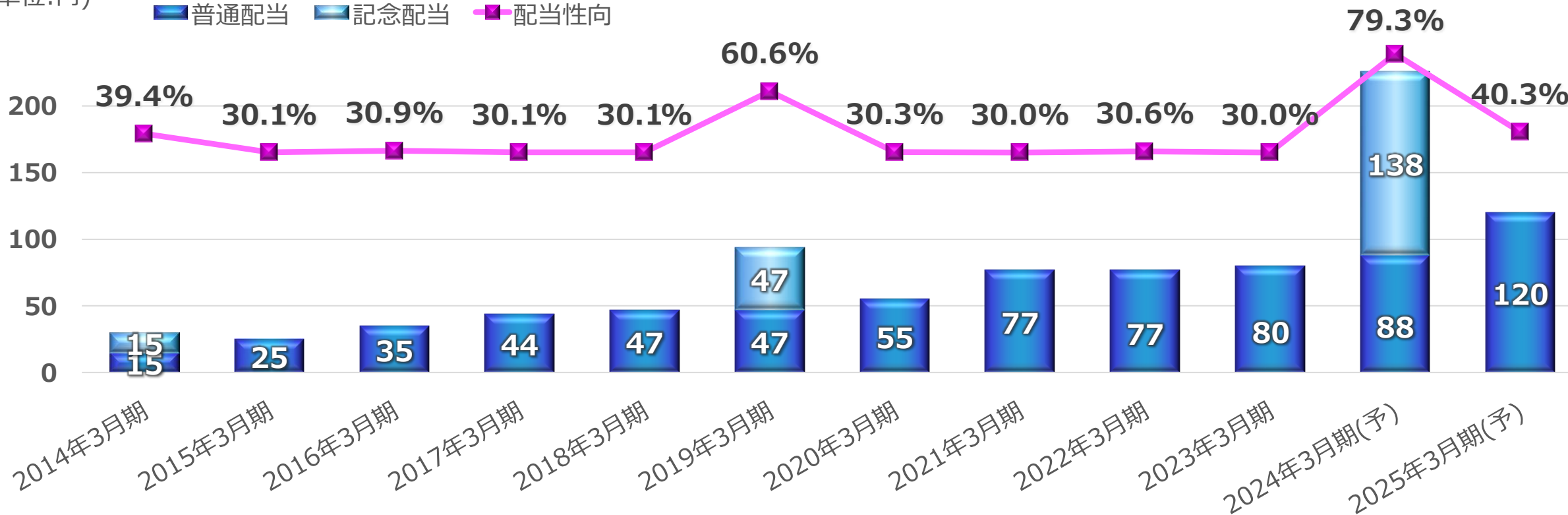
2025年3月期の当期純利益は1,780百万円を見込んでおり、過去最高益の利益予想となります。  
 なお、2024年4月からスタートした中期経営計画では最終年度である2027年3月期に自己資本当期純利益率（ROE）12%を目指してまいります。 ※ 2021年3月期・2022年3月期のROEは雇用調整助成金の受給により一時的に高くなりました。



株主還元につきましては連結業績を基準に配当性向30%を目途に行うことを基本方針としております。  
 2024年3月期末配当は普通配当88円と同額の記念配当88円に加え、創立50周年の節目としての特別加算50円を上乗せし1株当たり138円の記念配当を実施することとしました。  
 新中計では配当方針に関しても見直しを行い、2025年3月期は配当性向40%、中計最終年度の2027年3月期には配当性向50%を目標といたします。

(単位:円)

■ 普通配当 ■ 記念配当 ■ 配当性向



6

# Appendix ～ご参考～

決算年月		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	(百万円)	16,421	17,274	17,547	18,623	20,358	21,778
経常利益	(百万円)	1,402	1,651	2,275	2,229	2,292	2,381
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	932	1,083	1,533	1,501	1,589	1,702
包括利益	(百万円)	936	1,079	1,496	1,500	1,588	1,774
純資産額	(百万円)	10,842	11,444	12,546	13,632	14,793	16,116
総資産額	(百万円)	15,270	15,550	17,624	18,497	20,173	21,885
1株当たり純資産額	(円)	1,805.69	1,883.43	2,076.29	2,253.34	2,441.29	2,656.73
1株当たり当期純利益	(円)	155.21	181.48	256.47	251.58	266.27	284.90
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	152.07	177.73	251.56	246.04	260.08	277.23
自己資本比率	(%)	70.3	72.8	70.3	72.7	72.3	72.6
自己資本利益率	(%)	8.9	9.8	12.9	11.6	11.3	11.2
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	1,338	1,388	2,296	991	1,431	1,936
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△1,031	△101	△574	△1,640	△1,607	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△446	△571	△427	△463	△458	△474
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	4,243	4,960	6,253	5,141	4,507	5,499
従業員数	(人)	1,955	2,075	2,186	2,273	2,342	2,461



# ありがとうございました

お問い合わせ先

I R 担当 取締役執行役員 管理本部長

川辺 恭輔

管理本部 経営企画担当

金谷 新

TEL. 042-378-1100

<https://www.ksk.co.jp>

- 本資料は、当社グループの業績およびグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、実際の施策や業績は、今後の事業環境等の変化により異なる場合や予告なしに変更されることがあります。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。